

財務省第2入札等監視委員会 令和5年度第1回定例会議審議概要

開催日及び場所	令和5年9月29日（金） 東北財務局7階第一会議室	
委員	委員長 成田 由加里（公認会計士） 委員 高木 龍一郎（学校法人東北学院 常任理事） 委員 木村 史彦（東北大学会計大学院 院長）	
審議対象期間	令和5年4月1日（土）～ 令和5年6月30日（金）	
抽出案件	4件	（備考）
競争入札（公共工事）	3件	契約件名：（R05）榴ヶ岡住宅（1号棟）外壁改修その他工事 契約相手方：株式会社渋谷組 （法人番号6390001000847） 契約金額：532,400,000円 契約締結日：令和5年6月2日 担当部局：東北財務局
		契約件名：（R05）山形地区各所修繕工事（ガス設備工事単価契約） 契約相手方：株式会社清晃仙台 （法人番号5370001005361） 契約金額：3,016,200円 契約締結日：令和5年4月3日 担当部局：東北財務局
		契約件名：仙台北税務署7階休養室等改修工事 契約相手方：東北共栄建設株式会社 （法人番号6370001011251） 契約金額：50,050,000円 契約締結日：令和5年4月14日 担当部局：仙台国税局
随意契約（公共工事）	1件	契約件名：仙台第3合同庁舎7階事務室等改修工事 契約相手方：浜田工業株式会社 （法人番号4370601000663） 契約金額：17,270,000円 契約締結日：令和5年4月3日 担当部局：仙台国税局
競争入札（物品役務等）	一件	—
随意契約（物品役務等）	一件	—
応札（応募）業者数1者関連	2件	※（R05）山形地区各所修繕工事（ガス設備工事単価契約）に同じ ※仙台第3合同庁舎7階事務室等改修工事に同じ
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	
	次葉のとおり	回答
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p><b>【事案1】</b>            契約件名：(R05) 榴ヶ岡住宅（1号棟）外壁改修その他工事            契約相手方：株式会社渋谷組            （法人番号6390001000847）            契約金額：532,400,000円            契約締結日：令和5年6月2日            担当部局：東北財務局</p> <p>落札率が99.9%となっているが、その要因は何か。</p> <p>予定価格を業者の採算ラインの水準に設定すると、ダンピングにより労務費にしわ寄せが及ぶことなども懸念されるが、この点はどのように認識されているか。</p> <p>宮城県に所在する会社が入札参加しなかった理由は。</p>	<p>本工事の入札は、3回目で落札した経緯があり、落札者にヒアリングしたところ、1回目の入札額は予定価格と大きな乖離があったものの、本工事の受注に意欲的であったことから、2回目は採算ライン程度まで金額を大きく下げ、3回目は更に少し金額を下げたところ、予定価格を下回ったと聞いている。</p> <p>予定価格については、昨今の賃上げ、物価上昇を踏まえ積算していたが、1回目の入札額は、当局の想定よりも高い金額であったことから、今後はヒアリング等の実施により市況の把握に努めたい。</p> <p>本工事の入札については、当局ホームページでの周知や、建設業界紙への情報提供のほか、過去に入札参加した業者など約20社に声掛けを行い、そのうち10社が設計図書の閲覧を行ったものの、工事規模が大きいことや、前年度に受注した工事が工期延長となったため、本工事に主任技術者を配置することができないなどの理由により、入札に参加してもらえなかった状況である。</p>
<p><b>【事案2】</b>            契約件名：(R05) 山形地区各所修繕工事（ガス設備工事単価契約）            契約相手方：株式会社清晃仙台            （法人番号5370001005361）            契約金額：3,016,200円            契約締結日：令和5年4月3日            担当部局：東北財務局</p> <p>一者応札の要因は何か。</p> <p>仙台市に所在する業者が落札しているが、山形県内に所在する業者への声掛けや、地域区分の見直しなど工夫の余地があるのではないか。</p>	<p>単価契約の性質上、実際に受注できる件数が確定しておらず、不透明感、不確実性から積極的に入札参加する業者が少ないほか、当局から入札参加を慫慂した業者数が少なかったことも一因と考えている。</p> <p>また、入札参加を見送った業者にヒアリングしたところ、上下水道工事等を主な事業としており、ガス設備関係工事は日常的に行っておらず、本工事を受注した場合には、協力会社や都市ガス供給業者を現場に同行させる必要があり、当局からの対応要請に素早く応じられないため、入札に参加しなかったと聞いている。</p> <p>落札者の（株）清晃仙台は、山形市内に営業所を有し、都市ガス供給業者のサービス協力店として、日頃よりガス器具全般の修理、販売等を行っていることから、本工事の内容を熟知しており、効率的な施工が可能であるとして入札に参加している。</p>

意見・質問	回答
<p>本工事の過去の入札状況はどうなっているか。</p> <p>山形市内に管工事の資格を有する業者はどれくらい存在するか。</p> <p><b>【事案3】</b>            契約件名：仙台北税務署7階休養室等改修工事            契約相手方：東北共栄建設株式会社            （法人番号6370001011251）            契約金額：50,050,000円            契約締結日：令和5年4月14日            担当部局：仙台国税局</p> <p>参加業者が2者となった要因は何か。</p> <p>本事案は事前に計画されていたと思うが、この規模の工事を発注する上で、入札時期はどのように検討したのか。</p> <p>参加業者を増やすために、どのような工夫を行ったのか。</p> <p>各フロア別に工事内容が異なることから、工事種別に分割して、それぞれを発注すれば中小企業も参加できると思うが、そのような検討は行ったのか。</p> <p><b>【事案4】</b>            契約件名：仙台第3合同庁舎7階事務室等改修工事            契約相手方：浜田工業株式会社            （法人番号4370601000663）            契約金額：17,270,000円            契約締結日：令和5年4月3日            担当部局：仙台国税局</p> <p>入札が不落となった経緯は。</p>	<p>令和2年度から4年度まで一者応札であり、いずれも（株）清晃仙台が落札している。</p> <p>山形市内で管工事の資格を有する業者のうち、B等級の業者は17社、C等級は5社であり、計22社の業者が存在する。なお、管工事にはガス配管以外にも給排水設備、空調設備、防災設備などの工事も含まれることから、管工事の登録業者のうち、ガス工事を手掛ける業者がどの程度存在するかを把握することが重要だと認識している。</p> <p>本事案は7階休養室の工事のほか、2階事務室にスライディングウォールを設置する内容となっているが、スライディングウォールの設計・作製・設置を行うためには、それなりに大きい業者でなければ請け負えない工事内容だと業者から聴取している。</p> <p>税務署においては、1月以降は確定申告で事務室を使用する関係上、年内（12月まで）に工事を終わらせる必要があるほか、スライディングウォールの製作期間等を考慮し、今回の時期に入札を行ったものである。</p> <p>参加資格等級を拡大したほか、合庁外部・庁舎内への公告の掲示、仙台北税務署への公告掲示、国税庁HPへの掲載、建設業界新聞社への情報提供を行い、可能な限り入札の周知を図っている。</p> <p>工事を年内に終わらせる必要があり、複数の業者が入入りするより、1者で全ての工事を請け負って施工したほうが、工事の取り合いを避ける意味でも期間内での施工が可能であると判断し、まとめて入札したものである。</p> <p>辞退した2者に辞退理由を確認したところ、①他の入札案件の落札候補者となったことから現場代理人の確保が難しくなった、②機械設備改修に係る見積書の手配が間に合わず、積算ができなかったとのことである。</p>

意見・質問	回答
<p>辞退した業者は、国税局の工事を行ったことはあるのか。</p> <p>特定の複数業者で、順番に落札するよう通謀している可能性はないか。</p> <p>事務室の改修はよくある工事だと思うが、他の工事においても参加業者数は同程度か。</p> <p>見積価格率がかなり高いが、予定価格の積算に問題はなかったか。</p> <p><b>【総評】</b></p> <p>(事案2) 同じ業者が連続して落札していることから、他の業者に入札参加を慫慂するなど工夫されたい。</p> <p>(事案3) より多くの業者が参加できるよう引き続き入札参加の慫慂を行い、より競争性を高めていただきたい。</p> <p>(事案4) 辞退者が出ている一方、新規業者も参加していることから、引き続き新規業者が参加しやすく、入札まで行えるよう努めていただき、競争性を高めていただきたい。</p>	<p>ただ、どちらの業者も落札していれば工期内に工事が可能である旨聴取しており、いずれも業者側の都合であることから、入札内容に問題はなかったと認識している。</p> <p>(株)平山建築については、事案3「仙台北署7階休養室等改修工事」に参加しているほか、以前、別の税務署の工事も施工している。</p> <p>辞退はしているものの、もう1者の(株)千葉工務店は新規業者であり、幅広く参加できる状況となっている。</p> <p>工事内容や工事場所にもよるが、概ね2～3者が平均的である。</p> <p>本事案は、業者から提出された見積書の内容を精査した上で随意契約を行っており、当局の予定価格内で施工できることを確認していることから、当局で積算した予定価格に問題はなかったと認識している。</p>